



南陽東ロータリークラブ

会長 高橋 眞己

7月9日、新関ガバナー年度最初の公式訪問が南陽東RCで行われました。新関ガバナー、横澤ガバナー補佐、志田地区幹事の3名が来訪し、10時30分から会長、幹事、エレクト会議に引き続き、12時30分より例会が行われました。

新関ガバナーの卓話は、RIテーマよりも地区目標「奉仕を实践し 夢を未来へ届けよう」に思いが込められていたようです。まさに、「実践なくして未来なし」です。2800地区の組織を4グループに構成したこと、そしてユーモアを交えたお話ではクラブは自主運営であるべきと強調されました。会員増強に関しては、自分が自分の心を育てるために新たに他人を迎え入れる事によってレベルアップが図られるとの事でした。最後は「例会出席が重要で出席率ではない」で閉会しました。



小国ロータリークラブ

会長 高橋 恭史

7月10日(水)新関ガバナー、横澤ガバナー補佐、志田地区幹事による公式訪問が行われました。例会に先立ち会長幹事会では、会員増強のポイントや人材発掘の新たな視点をご指導いただきました。又、東日本大震災の被災者の方が小国町にも居られることに触れ、何か支援できることを探してみてもどうか、ご提案いただきました。

引き続き例会で卓話を頂戴し、小国クラブのように少人数だからこそ「クラブ25」を生かす方法や、我々会員が気付かなかった小国クラブのメリットなどを話され、和やかな雰囲気ですべてが進みました。

当クラブは9月14日(土)に40周年記念式典を計画しております。ガバナーから“小国らしさ”を追求して、素敵な節目を迎えてほしいというお言葉を頂戴しました。

ガバナーを身近に感じられる大変有意義な時間でした。



寒河江ロータリークラブ

幹事 小野 承信

7月11日(木)新関ガバナー、志田地区幹事をお迎えしての公式訪問が行われました。

会長幹事会においては、会長所信を始めとして各委員会の活動計画を基に説明が行われ、それぞれに対し意見交換が行われました。終始和やかな雰囲気の中でガバナーの考えを聞くことが出来、大変参考になった所です。

例会の中では「ロータリアンとしての基本はどうあるべきか」をかみ砕いた内容でスピーチをして頂きました。ユーモアを交えた中で、ピリッと辛みの効いた話は会員の心の中に強く残ったところでした。